

Designシンポジウム2012

会場：京都大学百周年時計台記念館

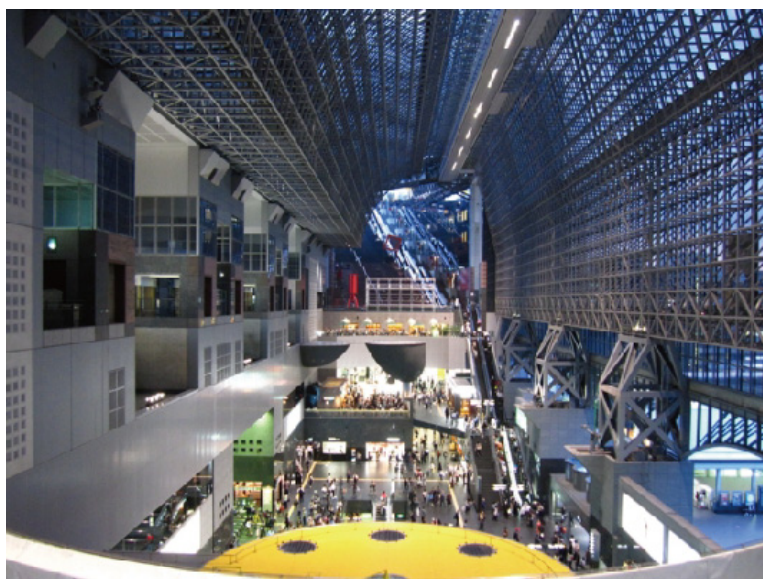
共催：日本建築学会(幹事学会)，日本機械学会，精密工学会，
人設計工学会，日本デザイン学会，人工知能学会

問合せ先：Designシンポジウム2012運営委員会(京都大学工学研究科門内研究室)

基調講演 2012年10月16日(火)15:00～16:30

原 広司(建築家，東京大学名誉教授)

「様相なる概念をめぐって」



近代建築からの脱却をめざして、古今東西の空間概念を幅広く探求し、世界の集落調査を精力的に行い、均質空間論、集落の教え、様相論などの興味深い建築・都市理論を展開するとともに、数々の優れた建築・都市作品を設計している。主な作品に、栗津邸，田崎美術館，ヤマトインターナショナル，梅田スカイビル，JR京都駅(写真)，札幌ドームなどがある。

招待講演 2012年10月17日(水)13:10～15:20

◆**原 研哉**(デザイナー，武蔵野美術大学教授)

「産業の未来を可視化するデザイン」

◆**松原 厚**(京都大学大学院工学研究科教授)

「設計プロセスのデザイン」

※学生は無料で聴講できます。

(敬称略)